

線上償還に伴う経営改革促進効果
 2 年度別目標等
 (5) 下水道事業

区分	目標又は実績	平成15年度 (計画前5年度) (決算)	平成16年度 (計画前4年度) (決算)	平成17年度 (計画前3年度) (決算)	平成18年度 (計画前々年度) (決算)	平成19年度 (計画前年度) (決算)	計画前5年間 実績	平成20年度 (計画初年度) (決算)	平成21年度 (計画2年度) (決算)	平成22年度 (計画3年度) (決算)	平成23年度 (計画4年度)	平成24年度 (計画5年度)	計画合計	
収入の確保	処理区域内人口(人)	50,113	56,366	59,981	63,078	64,941		65,622	67,363	68,592	68,534	69,961		
	A 増減		6,253	3,615	3,097	1,863		14,828	1,741	1,229	58	1,427	5,020	
	水洗便所設置済人口(人)	33,993	38,112	41,010	44,334	46,114		49,714	51,839	52,619	55,283	57,081		
	B 増減		4,119	2,898	3,324	1,780		12,121	3,600	2,125	780	2,664	1,798	10,967
	水洗化率(%)	67.8	67.6	68.4	70.3	71.0		75.8	77.0	76.7	80.7	81.6		
	C 増減		0.2	0.8	1.9	0.7		3.2	4.8	1.2	0.3	4.0	0.9	10.6
	有収水量(m³)	5,382,032	5,770,954	6,201,781	6,612,641	6,792,909		6,882,295	7,081,306	7,299,299	7,518,278	7,743,826		
	D 増減		388,922	430,827	410,860	180,268		1,410,877	89,386	199,011	217,993	218,979	225,548	950,917
	使用料単価(円/m³) (使用料収入/有収水量)	110	110	110	130	135		135	135	134	133	150	150	
	E 増減		0	0	20	5		25	0	1	1	17	0	15
料金改定率(%) (料金改定実施年度に記入)			0.0	0.0	21.7	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	
F 増減														
収納率(%)	94.9	95.3	95.6	95.8	95.9		95.8	95.9	95.4	95.4	96.0	96.0		
G 増減			0.4	0.3	0.2	0.1	1.0	0.1	0.1	0.5	0.6	0.0	0.1	
その他()														
H 増減		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
経営の効率化	職員1人当たりの営業収益(千円)	25,846	26,128	26,277	30,822	34,029		38,155	39,933	45,741	51,556	52,222		
	増減		282	149	4,545	3,207		8,183	4,126	1,778	5,815	666	18,193	
	職員数(人)	34	34	35	36	34		31	30	27	27	27		
	増減		0	1	1	2		3	1	3	0	0	7	
	管理運営費(千円)	2,041,362	2,215,298	2,209,567	2,178,265	2,170,920		2,195,349	2,223,002	2,255,831	2,335,776	2,328,713		
	I 増減		173,936	5,731	31,302	7,345		129,558	24,429	27,653	32,829	79,945	7,063	157,793
	処理区域内人口1人当たりの管理運営費(千円) (I/A)	40,735	39,302	36,838	34,533	33,429		33,455	33,000	32,888	34,082	33,286		
	J 増減		1,433	2,464	2,305	1,104		7,306	25	454	113	1,194	796	143
	汚水処理原価(円/m³) (汚水処理経費/有収水量)	265	274	265	249	197		171	172	172	171	170		
	K 増減		10	9	17	52		68	26	1	0	1	27	
汚水処理原価(維持管理費)(円/m³) (汚水処理経費(維持管理費)/有収水量)	81	84	79	69	65		63	64	61	73	68			
L 増減		3	6	10	4		16	2	1	3	12	5	3	
その他()														
M 増減														
使用料回収率(%) (E/K×100)	41.6	40.1	41.5	52.3	68.5		79.0	77.9	77.3	87.7	88.2			
増減		1.5	1.4	10.8	16.2		26.9	10.5	1.1	0.6	10.4	0.5	19.7	
累積欠損金比率(%)														
増減														
企業債現在高(百万円)	23,310	24,045	24,390	24,741	24,821		24,623	24,496	23,880	23,412	22,848			
増減		735	345	351	80		1,511	198	127	616	468	564	1,973	
収入の確保	使用料収入	591	636	684	857	911		929	951	973	1117	1152		
	改善額	0	0	0	125	159		284	13	38	63	269	317	700
	有収水量の増加								13	38	63	190	224	528
	使用料の適正化				125	159		284				79	93	172
	収納率の向上													
その他()														
改善額							0						0	
経営の効率化	管理運営費	2,041	2,215	2,210	2,178	2,171		2,195	2,223	2,256	2,336	2,329		
	うち職員給与と費中の退職手当を除いたもの	2,041	2,215	2,210	2,178	2,171		2,195	2,223	2,256	2,336	2,329		
	改善額	0	0	0	0	7		7	20	27	46	46	185	
	職員給与と費の適正化					7		7	20	27	46	46	185	
	維持管理費(上記以外)の適正化													
	うち職員給与と費中の退職手当													
その他()														
改善額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計画前5年間改善額 合計							291	改善額 合計					885	
(参考) 補償金免除額													2112	

計画前年度において使用料単価150円/m³(20m³当たり3,000円)未満(処理原価が150円/m³未満の場合は処理原価未満)の事業にあっては、下記に使用料適正化の考え方を記入し、当該適正化による増収額をに記入すること。
 『経営の効率化』の各年度の『職員数(人)』欄については、地方公営企業決算状況調査書の作成時点(翌年3月31日時点)の職員数を記入すること。
 『収入の確保』その他 の例:未利用地の売却、資産の有効利用(用地等の貸付)、再生水の販売収入など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)
 『経営の効率化』その他 の例:建設コストの縮減(上下水共同施工の実施、工法の見直し・技術開発の促進など、建設改良費の抑制は除く。)、電気・機械設備等の計画的修繕による長寿命化など(記入単位は百万円とするが、会計規模により千円単位でも可とする。)

(収入の確保及び経営の効率化に向けた取組みについて)

使用料適正化の考え方

市町合併後の激変緩和措置による不均一使用料の統一化を検討し、平成23年度に使用料の改定を実施し、現在の使用料単価135円/m³から150円/m³を目指し増収を図る

その他に記入された項目に関する取組等

財務内容の明確化と透明化を図り、経営内容や事務事業の説明等、住民への理解を得るため企業会計の導入を目指す